周南の島「大津島」コミュニティ紙

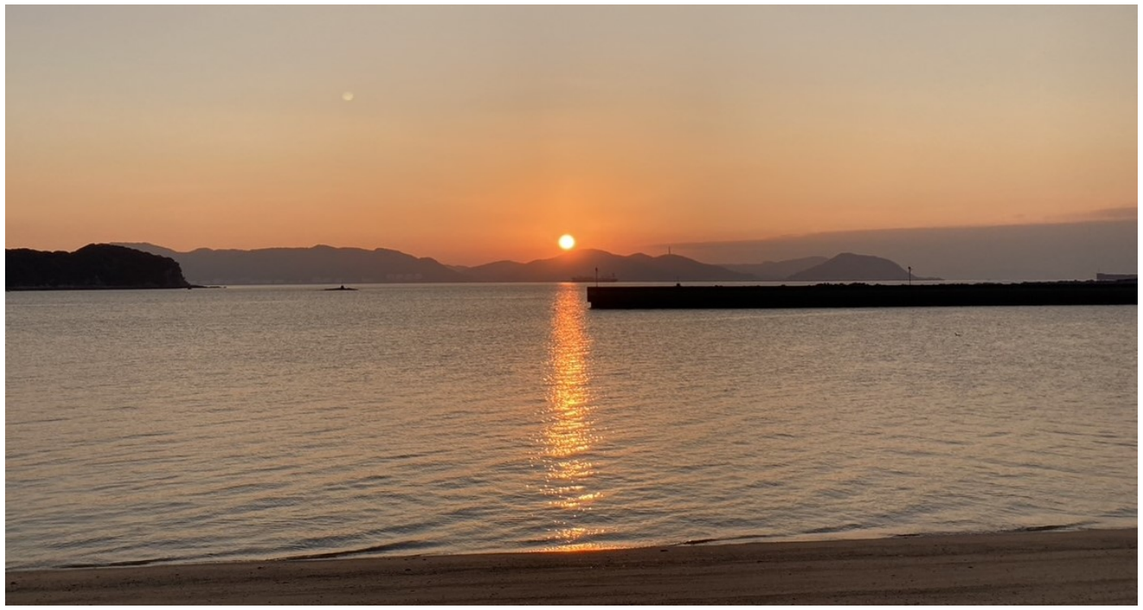
潮流

2024 年 1 月号

No.295

題字：末兼南子さん　イラスト：大津美子さん

大津島データ　136 世帯
人口 183 人　男 77 人　女 106 人
高齢化率 79.8%
(令和 5 年 11 月 30 日現在)



写真撮影：小倉　敬子

謹賀新年

皆様には健やかに
新年をお迎えのことと
お慶び申し上げます

令和5年6月から、大津島コミュニティ推進協議会会長に就任致しました、石田信行です。

昨年は、4年ぶりに敬老の日記念行事が行われましたが、皆さんのご協力のおかげで無事に終える事ができました。

大津島では、約2年間で4名の赤ちゃんが誕生し、若い命が次の世代へと受け継がれようとしています。喜ばしい限りでございます。新型コロナウイルス感染症は、5類へ移行後、外出の自粛要請及び就業制限はなくなりましたがインフルエンザが蔓延しています。皆さん、気を緩めることなく、感染症予防対策の徹底をお願い致します。

本年も地域とのつながりを大事にしながら取り組みを進めてまいりますので、引き続きご支援ご協力をお願い申し上げます。

新しい年が皆様にとって幸多い年でありますよう心から祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和六年元旦　大津島地区コミュニティ推進協議会
会　　長　石田　信行
事務局長　松島　和美

大津島ポテトマラソンFINAL

「走ること、生きること」

文＝大津島支所　中村　卓広

はじめにことわっておきますが、マラソンは高校生以来で特に思い入れはありません。あんな苦行を好んで続ける方は、ある種の信仰心が厚いのだろうと羨望する側でした。そう言えば、同世代が住宅ローンを組んだあとに、何かから逃れるように一人また一人とマラソンを始めたのを思い出しました。前置きが長くなりましたが、何はともあれポテトマラソンは、これでFINALです。

前回第33回大会で、親子で手をつないでゴールする姿にあこがれましたが、説得むなしく独りマスターズ5 kmを走ることになりました。ひと知れず2ヶ月前からぼちぼち練習するも、慣れない素人の勇み足で疲労骨折の憂き目に。結局、1ヶ月前から本番当日まで、走ることは禁止のドクターストップ。漢方薬と自然治癒力、それにスタッフの手伝いなど、日々少々の徳を積むことを心がけたおかげか、なんとか完走することができました。結果は10位（飛び賞：高瀬茶）で、練習とおりのタイムに感謝。

普段できることができなくなって初めて、その尊さに気づくことになります。ほんの2か月余りでも、生きることを実感できるような経験ができました。一緒に走った選手にも、いろいろな準備や人生があり、スタートラインにつくことは、きっと当たり前のことではなかったはずです。FINAL参加者・関係者の皆様、本当にお疲れ様でした。これで思い残すことなく大津島勤務もFINAL…かどうかは、また別の話。

徳山湾見聞録 42　回天や訓練基地などの間違った知識あるある…

文＝大津島巡航　三崎　英和

何といっても多いのが「回天」は一度乗り込むと、二度と外へは出られないと思われている方でしょう。回天記念館で展示していますが、「回天」の実物のハッチには内側（つまり回天の内部）から開けられるように、ちゃんとハンドルが付いているので、外に出られないことはありません。

ではどうしてそう思われている方がおられるのかというと、昔、回天をテーマとしてつくられたドラマなどでそのように紹介されたためと、既に亡くなられましたが、全国回天会の会長であった小灘利春さんがその著書に記されています。

それから、回天訓練基地跡を見たとき、「ここから回天隊が出撃したのだ」と思い込まれる方も多いです。基地跡の東側部分の一段低くなっている所（よく釣りをされる方がおられる場所）が、ちょうど潜水艦が着岸できそうな場所としてイメージされるようです。

また、基地跡内のプラットフォームにある2つの長方形に床が抜けて海面が見える場所については、そこに回天を降ろして訓練に向けて発進させたと思い込まれる方もよくおられます。

そもそも、この施設は以前、「回天発射訓練基地」と市の資料でも紹介されていました。

従って回天がこの基地跡から発射されたなどとのイメージをもって、この施設を見学したならば、そうした間違った認識をしてしまうのは仕方がないことでしょう。

そのため、現在の施設の正式名称は「回天訓練基地跡」となっています。

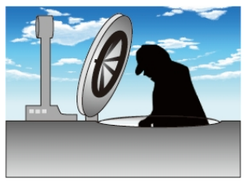


イラスト　三崎さん

若潮の会通信 No.53

文＝佐々木　照彦

明けましておめでとうございます。皆様には、新年を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、若潮の会も平成25年に発足して、丸10年が経過し、11年目に突入しております。コロナの影響で自粛を余儀なくされておりましたが、昨年5月に5類へと移行し、活動も徐々に出来るようになりました。昨年10月29日には、20名程でサツマイモを収穫。大津島ポテトマラソンＦＩＮＡＬに提供することができました。ポテトマラソンがなくなったとはいえ、今年もサツマイモは栽培していく予定です。ポテトマラソンに代わるイベントについても、決定されれば引き続きお手伝いしたいと思います。

島の課題解決や活性化の一助となれるよう、そして今年もわいわいがやがやと活動が出来るよう、何よりも島民の皆さんと明るく新しい年を過ごしていきたいと思います。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

お世話になりました

大津島は、亡き父との思い出の場所でした。縁があって大津島郵便局で働くことになり嬉しくてたまりませんでした。毎晩港で会ういつもの顔ぶれ、島の方々の優しい顔ぶれ、山道の木々のすき間から見える青い海、道に咲く花、チャリ通勤で文句を言いながら通った山道、楽しい思い出ばかりです。通勤では島の方々のおかげでとても助かりました。皆様には感謝しかありません。大津島ダイスキ❤でした。ありがとうございました。

大津島郵便局　清水 尚美

アイランダー2023

昨年の１１月に東京の会場へ大津島が出店し、拓殖大学の皆さんと島の皆さんに手伝っていただきました。ご協力ありがとうございました。　文＝大友 翔太

～大津島巡航㈱よりお知らせ～～

明けまして、おめでとうございます。本年も宜しくお願いいたします。

令和６年度ドック入りの日程が決定しましたのでお知らせいたします。詳細は、下記の日程のとおりです。

■フェリー新大津島ドック　期間：令和６年１月29日（月）～2月10日（土）

■鼓海Ⅱ ドック　期間：令和６年３月18日（月）～3月28日（木）

※作業状況によって、期間が延長になる場合があります。詳細は、徳山営業所（21-7749）までお電話下さい。

※ お詫びと修正：先月（１１月号）もう一つの交流会、須金・大津島地区民児協交流会の中で次のとおり誤りがありましたので修正いたします。　「**萠谷（あしだに）**」→（よしだに）　「**松室（こむろ）**」→（まつむろ）

お知らせ

【次回潮流発行予定日】
３月１日　第296号

善意銀行へのご寄付ありがとうございます

▼預託者　河島　敏秋　様
　母　河島　ナルミ　様の香典返しとして
　金５万円（市社協１万円、大津島社協４万円）

▼預託者　匿 名　金１万円（大津島社協）

・１月29日（月）　税の申告相談
大津島ふれあいセンター（10：30 ～ 12：00）
大津島支所（13：30 ～ 16：00）

移動図書館　やまびこ号ジュニア
１月27日（土）、２月14日（水）
馬島１１：３０～　刈尾１２：２０～

【編集後記】明けましておめでとうございます。昨年は、久しぶりの敬老会と最後のポテトマラソンで盛り上がりました。今年は、どんな世の中になるのか？大津島にとっていい年になりますように…祈っております。

文責：大津島支所　原田 和保

知っちょるかね 小さな冒険物語

先日同級生が褒賞を受けたのを祝おうと、小さな同窓会が開かれた。五十二人中十七人という出席者だったが、中にはわざわざ大阪から駆けつけた人もいた。また、元気な内に会いたいからと、中学二、三年の時の担任の先生も出席してくれて、二時間の予定が三時間に及ぶ楽しい時間を過ごした。それぞれの顔を見ていると、みんなそれなりに白髪になり、シワもあり寄る年波は隠せないが、それでも同級生というのは一瞬で、あの頃の自分に戻れる不思議な関係だ。特に私達は小学校五年生まで、男女共にメチャメチャ仲が良かった。この年頃になると、何となく男女を意識して少しずつ距離を置き始めるものだが、私達はそんな事もなく毎日をワチャワチャ楽しく過ごしていた。

そんなある日、誰の発案だったか分からないが「冒険をしよう」という話が出て、全員訳も分からずノリノリで賛成して、計画を立てた。と言っても冒険できる所などある訳もなく、ただ、夜みんなで何処かに集まろうぜって事なのだ。街灯などまばらな島の昔。日も暮れると辺りは真っ暗で、その中をじげ（集落）の中では静かに静かに声を出さないように、今のフェリー着き場の辺りに集合した。ここだけでみんな充分興奮状態。家からそうっと持ち出した、あの頃はまだ貴重な懐中電灯をつけ、みんなの顔を覗き込んで笑い合う。

さて、そこから小学校までの、いわゆる地獄坂まで行く組と少しあと戻ってタオ山の斜面を登る組に分かれて、静かに静かに移動する。地獄坂の手前に着くと、ちょっと上がると教員住宅があるので、それには見つからないように静かに待機する。息を殺して待っていると、向かいのタオ山の中腹から、懐中電灯の灯りが、ピカッピカッと光り、こちらからもお返しにピカッピカッと光を送る。「届いたね」などと他愛もなく興奮して小声で話し合っていた所に、「何をせよるんかあ、お前達は」と男先生の怒鳴り声。あっけなく叱られて解散させられて、翌日は参加者全員先生方に改めてお目玉を喰らわされたのは言うに及ばずで。勿論、家でもそれぞれこっぴどく叱られたのは言わずもがな。大した冒険でもなく、それでも計画から実行までのワクワクは、楽しかった。その分萎えてしまった気持ちは子供の心に大きく影響を与えて、その後、私達は男女で仲良くすることが出来なくなり、そのまま中学卒業してしまった。そこから紆余曲折、じーさんばーさんになった同級生を眺めながら、七十年も昔の小さな小さな冒険を思い出したある日のこと。

文＝松本　千恵子

周南公立大学出前トーク

文＝大津島支所　中村　卓広

昨年、10月20日に馬島地区ふれあいセンターで周南公立大学の西山先生による出前講座が開催されました。男女あわせて９名の参加者に対して、筋肉・トレーニングの講義が行われた後、島でおなじみの「いきいき百歳体操」が紹介されました。体操を知ってはいたが、実際に運動するのは初めての方もおられました。皆で体操することで運動することの大切さを共感できました。ただ、講義でも念押しされていましたが、今日だけ頑張るのではなく、毎日続けることの工夫が大切とのことです。これを機に、本浦地区と馬島地区で開催されている「いきいき百歳体操」に 参加してみてはいかがでしょうか。

◆発行　第295号ー令和６年１月１日ー大津島地区コミュニティ推進協議会　◆編集　潮流編集委員会　◆事務局　大津島支所　〒745－0057　周南市大字大津島1361－4　電話0834（85）2001　ファックス0834（85）2732